

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	11					シート作成者	-	-
事務事業名	小学校大規模改修整備事業			事務区分	自治事務	部課かい名	教育総務部 教育施設課	
事業の目的	小学校施設老朽化の防止と長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するため、計画的な改修工事を行う。			事業の目標		平成21年度から32年度までに小学校14校の改修工事を完了する。		
事業の概要	耐震改修工事とあわせて既に大規模改修工事を実施した学校や新設校との学校間格差の解消し、施設の長寿命化を図るため、平成21年現在で築年30年を超えた小学校を対象として、校舎の外壁、屋上防水、内装及びトイレ等の改修工事を行うとともに、次期改修校の設計業務を行います。							
対象	児童・教職員等			事業の性質区分		政策	業務計画	■
指標	改修工事実施校数							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
4校(設計委託2校)	3校	2校		1校(設計1校)		1校		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	—	317,535,000	233,160,000	78,831,000	※平成28年度予算額には繰越額(201,835,000円)を含みます。		
	予算額	489,736,000	317,535,000					
	決算額	424,273,000						
	執行率	86.6%						
	従事者数	2.26	1.78					
	職員	2.15	1.78					
財源内訳	臨時・非常勤等	0.11						
	特定財源							
	国庫支出金	55,783,000	26,900,000					
	県支出金							
	地方債	382,300,000	283,100,000					
	その他							
	一般財源	13,810,000	7,535,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>平成21年現在で築年30年を超えている小中学校20校(うち小学校14校)を32年度までに大規模改修整備事業として計画されていた。各校の教室、建具、外壁、トイレ、屋上防水等が老朽化し、学校生活に影響が出ている状況もある。緊急修繕等により対応できる部分は、予算をやりくりして対応しているが、長期的にみると大規模改修工事を実施していくことが効果的であると考え。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	大規模改修工事が実施された学校においては、教室・トイレ等が全体的にリニューアルされ、安全性の確保とともに、バリアフリー化や身障者にも使い勝手が良い教育環境が達成されている。 課題としては、大規模改修工事の中で、改修が予定されていない窓サッシ等の部位への対策が遅れている。
事務効率	夏季休業期間中に工期を集中することで、仮設校舎を建設することなく、短期間で改修工事のコストを縮減するとともに、授業、学校開放、地域活動等でのグランド利用者への影響も最小限に抑えることができるが、課題としては、夏季休業期間中に工事を行うため、第1四半期・第2四半期に業務が集中する。
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の成果を高める	<p>○財政状況が非常に厳しい中、限られた財源で事業を実施するため、国庫交付金の積極的な活用に努める。</p> <p>○国の補正予算等の動向調査、情報収集に努める。</p> <p>○今後、(仮称)教育施設等再整備基本方針を策定していく中で、再整備計画の検討を進める。</p> <p>○市内の小中学校施設は、災害時等に市民の避難拠点場所になることも考慮し、計画的な整備改修を進めていく必要がある。</p> <p>○平成30年度を目途に、落下等の危険性の高い学校から窓サッシ等の改修方法について検討する。</p>

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容


[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	12			シート作成者	-	-	
事務事業名	小学校トイレ改修整備事業	事務区分	自治事務	部課かい名	教育総務部 教育施設課		
事業の目的	学校施設の整備計画や施設の維持管理を計画的に実施することにより、児童の教育環境の充実を図る。	事業の目標	平成21年度から32年度までに21系統の改修工事を完了する。				
事業の概要	平成21年3月末時点において、築年数が20年以上経過した学校トイレの3K(暗い、臭い、汚い)の解消に向けて、明るく、快適なトイレ空間を作り、衛生面における環境の改善を図るため、小学校の改修工事を行う。						
対象	児童・教職員等	事業の性質区分	政策	業務計画	<input type="checkbox"/>		
指標	トイレ改修の校数(第2次実施計画) 改修工事の校数(第3次実施計画)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
なし	2校 (大規模改修校舎)	なし		1校(屋外トイレ)		なし	
事業費	実施計画事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
	予算額	—	0	23,257,000	0		
	決算額	75,000,000	0				
	執行率	55,080,000					
	従事者数	73.4%					
	職員	0.23	0.16				
財源内訳	臨時・非常勤等	0.23	0.16				
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	51,600,000					
	その他						
一般財源	3,480,000						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>○その日の気温、湿度、風向き等の状況によりトイレの悪臭が教室等の部屋にまで入ってくるなど、老朽化した学校施設の環境を改善する必要がある。</p> <p>○近年、和式タイプの便器を使用できない、あるいは使用を嫌う児童が増え、社会的にも保護者等からも改修を望む声が多くなっている。</p> <p>○学校施設は、社会教育等の地域活動でも使用される機会が多く、体育館等のトイレの改善が望まれている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>○トイレ改修を実施することで、3K(暗い、臭い、汚い)といわれる不快な状況が改善され、明るく、快適なトイレ空間を確保できる。</p> <p>○衛生面における改善とともに、「みんなのトイレ」「多目的トイレ」の設置により、バリアフリー化や身障者にも優しいトイレが整備される。</p> <p>○課題としては、改修工事中のトイレ数減少に伴う利便性の確保が必要となる場合がある。</p>
事務効率	<p>○大規模改修工事に併せて、1棟のトイレ系統を改修することで、環境改善が効率的に進めることができる。</p> <p>○課題としては、夏季休業期間中に工事を行うため、第1四半期・第2四半期に業務が集中する。</p>
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>○トイレ改修工事の予算確保が厳しい状況の中、可能な限り、小規模修繕工事による改修や工夫を取り入れ、児童の学校生活に支障がでないよう努める。</p> <p>○国庫補助金等を積極的に活用し、学校のトイレ環境が計画的に改善されるよう情報収集等に努める。</p>

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容


[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	13			シート作成者	-	-	
事務事業名	小学校施設の asbestos 対策事業	事務区分	自治事務	部課かい名	教育総務部 教育施設課		
事業の目的	児童・教職員等、学校利用者の室内環境の安全性を確保する	事業の目標	asbestos の囲い込みをしている小学校の asbestos を完全に除去するため工事を実施する。				
事業の概要	現在も asbestos が存在している小学校の除去工事を実施し、室内環境の安全性を確保する。						
対象	児童・教職員等	事業の性質区分	政策	業務計画	<input type="checkbox"/>		
指標	完全除去の校数						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
完全除去の校数	1校	1校		1校		なし	
事業費	実施計画事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
	予算額	-	0	29,943,000	0		
	決算額	12,598,000	41,896,000				
	執行率	94.3%					
	従事者数	0.39	0.11				
	職員	0.39	0.11				
	臨時・非常勤等						
財源内訳	特定財源	国庫支出金	2,973,000	13,965,000			
	県支出金						
	地方債	8,300,000	27,900,000				
	その他						
一般財源	607,000	31,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>1975年に吹付け asbestos が使用禁止になる前に建築された小学校校舎、屋内運動場等の一部から asbestos が確認され、平成27年4月現在、小学校3校が囲い込みをし、継続的に室内浮遊調査を実施している。</p> <p>現在、石綿障害予防規則で規定している措置は完了し、国の基準を満たしているが、より高い安全性を確保するため、順次、該当校において、密閉された asbestos を除去している。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	平成27年度は茅ヶ崎小学校の対象面積333㎡(第4棟1・2階教室及び廊下)において、asbestos の除去工事を実施し、除去が完了した。
事務効率	<p>工事においては、指名競争入札とし、工事監督員は教育施設施設整備担当職員により実施した。</p> <p>また、学校生活への影響、工事の効率性等を考慮し、工事期間を夏季休業中に集中し実施した。</p> <p>課題としては、夏季休業期間中に工事を行うため、第1四半期・第2四半期に業務が集中する。</p>
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の成果を高める	<p>平成28年4月現在、小学校2校(鶴が台小学校・柳島小学校)において asbestos の囲い込みをしており、児童・教職員等、学校利用者の室内環境の安全性を確保するため、2校についても早い段階で asbestos 除去工事を行う必要があり、28年度には、鶴が台小学校の対象面積821㎡(第2棟1・2・4階の教室、廊下、昇降口、プレイコーナー及び第1棟1・2階の工作室・多目的室・視聴覚室・視聴覚準備室)の除去を実施する予定である。</p> <p>指名競争入札により適切な業者選定を行い、授業等に影響が出ないよう、夏季休業期間に集中して実施していくが、工事を安全に進めていくため、学校関係者、学校開放利用団体等と綿密な打ち合わせを事前に行う中で、的確なスケジュール管理のもと、工事を進めていく。</p> <p>また、残り2校の asbestos 除去工事を計画的に進めることで、30年度以降の業務廃止となる。</p>

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]